

経営比較分析表／団体全体（令和5年度決算）

熊本県 大津町

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計) (m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	4,700	極小規模	1	3,221
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	97.7	6	3,900	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
令和元年度の水源地新設に伴う減価償却費の増加等はありませんが、100%以上を維持しており良好です。
- ②累積欠損金比率
累積欠損金の計上はありません。
- ③流動比率
類似団体と比較しても大幅に高い値となっており、短期的な支払いは十分保持しています。
- ④企業債残高対給水収益比率
平成14年度以降企業債の借り入れは行っており、従前に借り入れていた企業債の償還も殆ど完了しており大幅に低い値となっています。なお、今後は水源地の新設等を実施する際に、企業債の借り入れを検討していきます。
- ⑤料金回収率
給水費用をすべて給水収益で賄っており、100%以上を維持しています。
- ⑥給水減価
水質が良好な地下水が水源であり、電気料金の増等による影響はありませんが、類似団体と比較しても低い値を維持しています。
- ⑦施設利用率
類似団体と比較して高い値を維持しており、施設の有効利用ができています。
- ⑧契約率
類似団体と比較して高い値を維持しており、有効な契約率となっています。

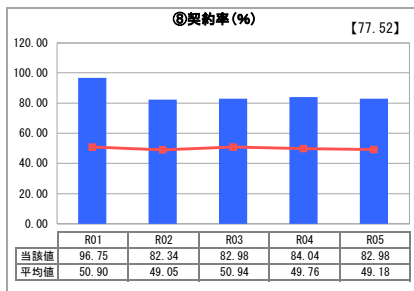
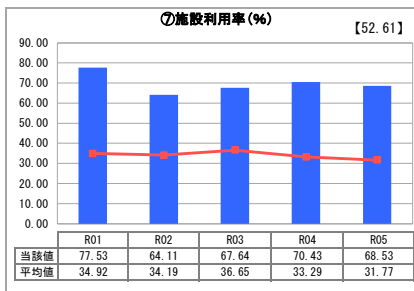
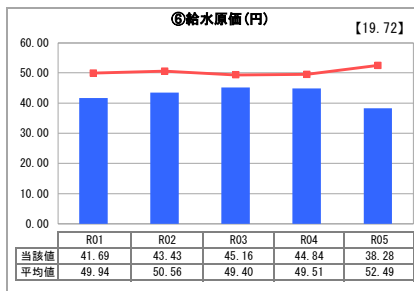
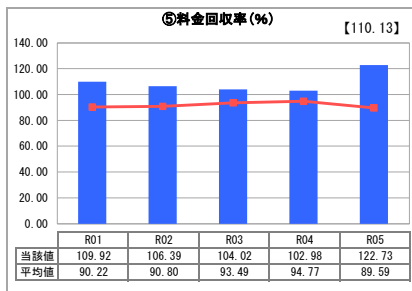
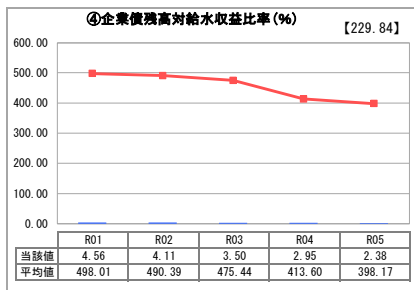
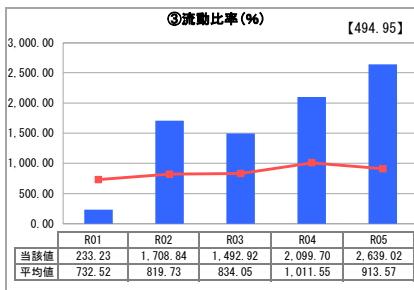
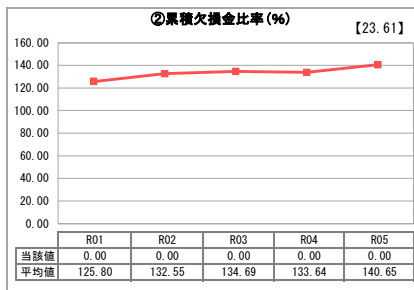
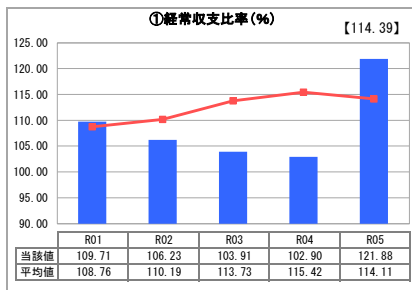
2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
水源地の新設により令和元年度には減少しましたが、固定資産の老朽化が進んでおり、経営戦略等を基に更新を行っていく必要があります。
- ②管路経年比率
現在まで法定耐用年数を経過した管路はありませんが、今後は経営戦略等を基に更新を行っていくこととしています。
- ③管路更新率
現在まで法定耐用年数を経過した管路はないことから、当該年度の管路の更新はありません。

全体総括

経営の健全性・効率性についての指標から分析すると、概ね健全な経営ができています。ユーザー企業から契約水量増の要望もあっていることから、新たな水源地の整備を検討するとともに、老朽化が進んだ施設については経営戦略等を基に更新を行います。今後も給水収益における効率的な事業運営に努め、あわせて企業債の活用も検討しながら施設や管路の更新を図り、より健全な経営を目指していきます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

